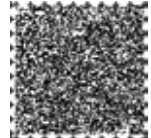


さがデザイン 2018

もっと輝く佐賀県へ



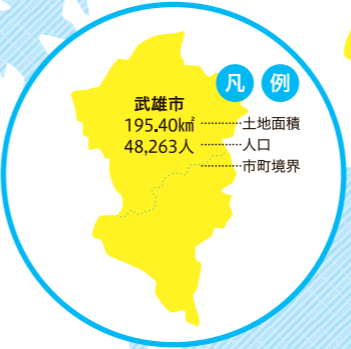
目の不自由な方のための音声コード

音声コードは1.8cm角の中で約1,000文字の情報が記憶できるもので、専用の読み取り機がコードを音声に変換し、文章内容を読み上げます。左の切りかきは、目の不自由な方がコードのある場所を認識するためのものです。



佐賀県のすがた

人口・818,865人
県統計分析課「佐賀県の推計人口」(平成30年4月1日現在)
 世帯数・307,884世帯
県統計分析課「佐賀県の推計人口」(平成30年4月1日現在)
 面積・2,440.68km²
国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」(平成29年10月1日現在)



県木(クス)
 県内では「川古(武雄市若木)」のクスが一番大きく、根まわり33m、樹齢は3000年をこえると推定されます。(昭和41年9月指定)

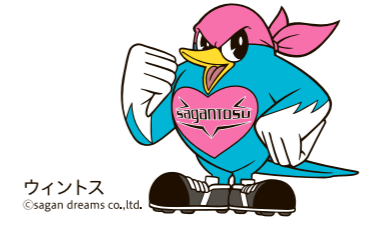


県鳥(カササギ)
 「カチガラス」とも呼ばれ、佐賀平野を中心に生息しています。大正12年には天然記念物に指定され、保護鳥となっています。(昭和40年5月指定)



県花(クスの花)
 クスの花は5月に咲き、直径が3~4mmで、愛らしい白ないし淡黄色をしています。(昭和29年3月指定)

みんなでサガン鳥栖を応援しよう!!

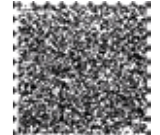


さがデザイン 2018 もっと輝く佐賀県へ

佐賀県 佐賀県 政策部 広報広聴課
<http://www.pref.saga.lg.jp/> TEL0952-25-7351 FAX0952-25-7263 〆 kouhou-kouchou@pref.saga.lg.jp
 佐賀県ホームページ ▶ 佐賀県 検索 <http://www.pref.saga.lg.jp/>

1868 SAGA 2018

肥前さが 幕末維新博覧会
佐賀さいこう博 150th ANNIVERSARY



基本理念

人を大切に、
世界に誇れる
佐賀づくり

県政を進めていくためには、
人に寄り添い、人と対話し、
これまで受け継がれてきた
人の「想い」を感じ取りながら
次の世代へ繋げていくことが大切です。
また、佐賀県の「本物」の地域資源などの
”佐賀らしさ“の価値を
私たち自身が再認識し、
世界からも認められる
佐賀県をつくっていききたいという想いを込め、
総合計画の基本理念に
「人を大切に、世界に誇れる佐賀づくり」を掲げています。

目指す将来像 — 6本の政策の柱 —

1 安全・安心のくらしさが

自然災害や事故等に対して、重大な被害を防止する対策が進み、迅速かつ的確に対応できる万全の体制が確立され、穏やかに安心して暮らすことができます。

2 楽しい子育て・あふれる人材さが

結婚・出産・子育ての希望がかない、楽しく子どもを産み育てることができています。また、多様な個性・能力が培われるとともに、地域への誇りをもって、世界でも地域でも活躍する人材が育っています。

3 人・社会・自然の結び合う生活さが

女性が社会で躍動し、男女を問わず高齢者も障害のある方も誰もが住み慣れた地域の中で、多様な人々を理解しながら、思いやりをもって行動するとともに、恵まれた自然環境の中で健康にいきいきと暮らしています。

4 豊かさ好循環の産業さが

起業や企業立地、イノベーションや新産業の創出が進み、多様な雇用の場が生まれているとともに、産業を支える人材が育っています。また、農林水産業が自立的な発展を遂げ、地場産業が活性化しており、地域の知恵と技術により磨き上げられた県産品の販路が世界中に拡大しています。

5 文化・スポーツ・観光の交流拠点さが

佐賀県の豊かな歴史や文化・伝統などの魅力が世界へ発信され、国内外の交流人口が増えています。また、県民の誰もが文化やスポーツに親しみ、楽しむ風土が形成され、地域内外の人と人がつながる交流拠点づくりが進んでいます。

6 自発の地域づくりさが

快適なまちづくりが進むとともに、過疎地域や離島・中山間地域も元気にあふれています。また、地域間や国内外との人・物・情報の交流が盛んになるとともに、誰もが様々な形で参加しながら自発的な地域づくりが進んでいます。

【政策推進の視点】

さが創生

「本物」の地域資源の磨き上げや、女性が活躍する社会づくりの推進などにより、雇用や新しいひとの流れ、子育ての希望をかなえる環境、時代に合った地域社会を創り出していくこと。

さがデザイン

県産品、街並みなどの「モノ」と、社会のシステム、サービスなどの「コト」を磨き上げ、新たな価値を付与することにより、人のくらし、まち・地域を心地よくし、豊かなものにする。

1 安全・安心のくらしさが

2 楽しい子育て・あふれる人材さが

3 人・社会・自然の結び合う生活さが

4 豊かさ好循環の産業さが

5 文化・スポーツ・観光の交流拠点さが

6 自発の地域づくりさが

CONTENTS

平成30年度の主な取組

肥前さが幕末維新博覧会 …… 3

子育てし大県 …… 7

学びを支える …… 9

健やかに生きる …… 11

魅力あるまちをつくる …… 15

地域を活気づける …… 18

安心して暮らす …… 21

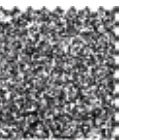
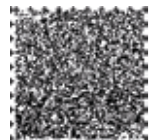
文化・スポーツを楽しむ …… 23

佐賀県のすがた …… 25



詳しくは

政策課 ☎0952-25-7541 ✉seisaku@pref.saga.lg.jp
ホームページ > 県政の運営 > 施策 > 佐賀県総合計画2015



肥前さが幕末維新博覧会

そして今、
佐賀は未来を見ている

今年、2018年は、明治維新150年の節目の年です。

幕末維新期の佐賀は、西洋の学問や技術の積極的な導入により、国内最先端の科学技術を有し、日本の近代化をけん引する存在として、その動向が注目されていました。明治維新の鍵を握っていたとも言われる佐賀からは、稀代の名君と謳われた10代佐賀藩主・鍋島直正をはじめ、早稲田大学を



創設した大隈重信や北海道開拓の父と呼ばれる島義勇、東京駅を設計した辰野金吾など、新しい国づくりに関与した偉人たちが数多く輩出されました。こうした偉業や偉人たちを顕彰し、その



©Hideki Mizuta



△「ユーザム サガ」の料理

志を今に活かし未来につないでいくため、「肥前さが幕末維新博覧会」を開催しています。日本初の鉄製大砲や実用蒸気船をつくり上げた高度な「技」とその技術を支えた「人」、そして、その礎となった「志」。これらを最新の映像技術などで体感できるテーマ館のほか、世界に誇る有田焼などの器で、一流シェフの料理が味わえるイベントや、県ゆかりの世界的アーティストの展覧会など、佐賀県の歴史・食・文化・アートを楽しめる博覧会です。



△幕末維新記念館（「幕末維新」体感シアター）



△博覧会のメインパビリオン幕末維新記念館

i 肥前さが幕末維新博覧会
会期：2019年1月14日（月・祝）まで
会場：佐賀市内エリアをメイン会場に県全域で開催

先人たちが築いた佐賀の礎。明治維新150年を機に、その志を今に伝えながら、ふるさとへの誇りや愛着を持った人づくりや、地域経済の活性化などにつなげていきたいと考えています。

オランダハウスー 未来に向けた オランダとの交流

2016年、駐日オランダ王国大使館と佐賀県が「クリエイティブ連携・交流協定」を締結して以来、その交流は着実に進展しています。

有田で始まったアーティスト・イン・レジデンスをはじめ、ジャズコンサートやクラシックコンサートなど、県内でオランダ人アーティストが活躍し、地域の人々と交流を深めています。スポーツ分野では、オランダ



△ダッチギャラリー

△SUGAR ROAD MARKET

の空手チームが、2020年東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿を佐賀県で行うことを決定し、空手チームや女子野球チームが、佐賀のチームと県内で強化合宿を行うようになりました。そして、今年、オランダと佐賀の未来に向けた



△オランダハウス

交流拠点「オランダハウス」を佐賀市呉服元町に開設しました。

ここでは、オランダ人クリエイターによる展示会やアーティスト・イン・レジデンス、オランダ伝統の味を再現したカフェのほか、オランダと佐賀との共通テーマである「水辺」でのアクティビティなどを実施。オランダと佐賀を語り、佐賀に居ながらオランダを身近に感じてもらうことで、オランダとの絆を強くしていきます。

●アーティスト・イン・レジデンスとは、招へいされたアーティストが、一定期間滞在し、地域と交流しながら創作活動を行うことです。

佐賀農業の 未来を体感する

農業は佐賀県の基幹産業です。米や佐賀牛をはじめ、いちご、たまねぎ、れんこん、ハウスみかんなど、世界に誇れる農産物が数多く生産されています。

こうした佐賀農業をもっと知ってもらうため、明治維新150年を迎えた今年、『さが農業「歴史・未来」展』を開催します。今日の佐賀農業を築いた先人の功績を礎にして、未来にはばたく佐賀農業を見て、触れて、感じる事ができ、子どもから大人まで楽しめる体験型の企画展です。ぜひ、佐賀農業の未来を体感してください。

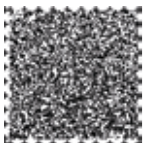


△ドローンによる作業

i さが農業「歴史・未来」展
会期：平成30年11月下旬～12月中旬
会場：幕末維新記念館（市村記念体育館）横の特設会場

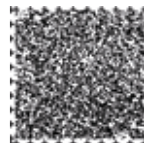
詳しくは

【オランダとの交流】国際課 ☎0952-25-7328 ✉kokusai@pref.saga.lg.jp
【農業展】農政企画課 ☎0952-25-7587 ✉nouseikikaku@pref.saga.lg.jp



詳しくは

肥前さが幕末維新博覧会事務局 ☎0952-25-7504 ✉sagaishinhaku@pref.saga.lg.jp
http://www.saga-hizen150.com さが維新博



肥前さが幕末維新博覧会 特別展を開催します

佐賀城本丸歴史館では、佐賀藩の人材育成や輩出した先人などを紹介する特別展『肥前さが幕末維新の「人」』や、北海道や沖縄県で活躍した島義勇と11代齋藤用之助を紹介する特別展『肥前さが幕末維新の「志」』を開催します。

また、佐賀県立博物館・美術館では、国内外で活躍する池田学(画家)・葉山有樹(陶芸家)、八谷和彦(メディア・アーティスト)の代表作を紹介する展覧会「三人展 Forward Stroke」や、デザイン、建築、現代美術の領域において国際的に高く評価されている吉岡徳仁による個展「吉岡徳仁 ガラスの茶室-光庵」など、佐賀県ゆかりの芸術家の作品を紹介する特別展を開催します。

こうした特別展を通して、明治維新の原動力となった佐賀の「技・人・志」と、佐賀のアートの底力や奥深さを次世代に伝えていきます。そして、ふるさとを誇りに思う気持ちを醸成するとともに、佐賀の魅力を広く発信していきます。

佐賀城本丸歴史館

特別展 肥前さが幕末維新の「人」

- 佐賀の人づくりが近代日本を支えた -

会期：平成30年7月6日(金)～9月9日(日)

特別展 肥前さが幕末維新の「志」

- 北へ南へ、佐賀人が道を拓いた -

会期：平成30年11月1日(木)～平成31年1月14日(月・祝)



△ 佐賀の人づくりが生んだ
近代日本のリーダー・大隈重信

△ 大都市札幌の基礎を築いた
島義勇



池田学 <誕生> 2013-2016

紙にペン、インク、透明水彩 300×400cm 佐賀県立美術館蔵
デジタルアーカイブ：凸版印刷株式会社
©IKEDA Manabu, Courtesy Mizuma Art Gallery, Tokyo / Singapore

県立美術館

三人展 Forward Stroke 明日への眼差し

会期：平成30年9月30日(日)～11月18日(日)

吉岡徳仁 ガラスの茶室-光庵

会期：平成30年11月28日(水)～平成31年2月11日(月・祝)



△ ガラスの茶室-光庵

 こが ごくどう 古賀 毅堂 藩主直正の教育担当	 なべしま なおまさ 鍋島 直正 佐賀藩10代藩主	 なべしま しげよし 鍋島 茂義 佐賀藩武雄領主	 おおくま しげのぶ 大隈 重信 早稲田大学の創設者	 そえじま たねおみ 副島 種臣 「正義の人」と評された外務卿	 えだよし しんりょう 枝吉 神陽 「義祭同盟」を結成。多くの人に影響を与えた
 しま よしただけ 島 義勇 北海道開拓の父	 さの つねたみ 佐野 常民 日本赤十字社の基礎を築いた	 えとう しんぺい 江藤 新平 司法制度の基礎を築いた初代司法卿	 おおくま たかとし 大木 喬任 近代教育の基礎を築いた初代文部卿	 たつの きんご 辰野 金吾 日本銀行本店、東京駅を設計	 そね たつぞう 曾禰 達蔵 慶應大学図書館や丸の内オフィスのビル街を建築

佐賀の偉人たち

幕末維新时期等に活躍した25人の偉人たちのモニュメントが佐賀の街中に登場しました。詳しくは、肥前さが幕末維新博覧会ホームページへ！

<http://www.saga-hizen150.com>

 なかばやし ごちく 中林 梧竹 明治三筆の一人	 たざわ よしはる 田澤 義鋪 青年団の父	 しもむら こうじん 下村 湖人 『次郎物語』の著者	 しだ りんざぶろう 志田 林三郎 日本の電気工学の祖	 くろだ ちか 黒田 チカ 日本初の女性化学者	 もりなが たいちろう 森永 太郎 森永製菓の創業者
 えさき りいち 江崎 利一 江崎グリコの創業者	 いとう げんぼく 伊東 玄朴 近代医学の祖	 さがら ちあん 相良 知安 日本にドイツ医学を導入	 いし いりょういち 石井 亮一・筆子 知的障がい児教育・福祉に尽力	 なかとみ さぶろう 中富 三郎 久光製菓の礎を築いた創業3代目	 いちむら きよし 市村 清 リコー三愛グループの創業者

詳しくは

文化課 ☎0952-25-7236 ✉ bunka@pref.saga.lg.jp
<http://saga-museum.jp/>

子育てし大県”さが“

子どもと本をつなぎ 「こころざし」を育む

県立図書館の1階に、600冊以上の児童書や大人向けの本や雑誌をそろえた、誰でも自由に利用できる「こころざしの森」がオープンしました。



△こころざしの森

△おはなし会を開催

畳コーナーでは小さなお子さんが好きな絵本を読んだり、窓際のカウンターでは外の芝生広場で遊ぶ子どもを見守りながら本を読んだり、親子で本に親しめる工夫がたくさんあります。飲食物の持ち込みも可能！天気がいい日には、本を南側の公園に持ち出して、青空の下で読書を楽しむこともできます。

さらに、乳幼児や幼児、小学生に向けたおはなし会を定期的に開催し、子どもと楽しみながら読み聞かせのコツを学ぶなど、子育て世代の交流の場となることを期待しています。

これからも、子どもたちが本に親しむ環境づくりを進めていきます。

※「こころざしの森」の字は、3つの本で構成した創作漢字。



飲食物はアルコール以外
持込可能



利用時間：9時～18時
維新博開催期間中は年中無休
(図書館休館日も開いています)

佐賀県と北海道の 子どもが交流します

明治初め、佐賀の偉人・島義勇しまよしゆうは、まだ広い原野だった北海道を「五州第一の都(世界一の都)」にしようとする都市計画を行い、発展の礎を築きました。



今年、明治維新150年の節目を迎えたことを記念し、佐賀県と縁のある北海道の子どもたちとの交流事業を行います。

北海道を訪れるプログラムでは、ブロックを地面や空中に配置して自由な形の建造物等を作るものづくりゲームソフト「マインクラフト」を活用し、偉人の功績にならって、未来の理想の街をつくるワークショップを行います。また、北海道の子どもたちが佐賀県を訪れ、県内の小学生との交流や肥前さが幕末維新博覧会の見学等を行います。こうした交流を通じて、偉人の熱い思いを学び、その志を未来へつないでもらいたいと思います。



△札幌市の街並み



△島義勇像(札幌市役所)

子どもの居場所づくりを 応援します！

子どもたちが気軽に立ち寄り、地域の大人と出会う場所となる「子どもの居場所」づくりが、全国に広がっています。

県では、そうした地域の人々による自発的な活動を後押しするため、開設に必要な備品などに対する初期費用の補助や開設・運営ノウハウの提供などの支援に取り組んでいます。

大人と子どもの交流が深まると、悩みや困りごとの相談を受けたり、気付いたりする機会も増えてきます。サポートを行っている窓口にしっかりとつないでもらうことにより、子どもたちを支援していきます。

●子どもの居場所とは、学習支援や食事、遊びの提供等を行う、子どもにとって身近で、気軽に集える場のことです。



△佐賀子ども食堂

平成30年
4月1日から
中学生以下の
入園料が無料



「子育てし大“券”2018」

利用期間：春／平成30年4月1日(日)～5月31日(木)
秋／平成30年9月1日(土)～11月30日(金)
利用方法：アンケートにご協力いただける中学生以下のお子様連れの方々をご招待(招待券1枚につきお子様を含む最大10名様まで)
入手方法：方法1／吉野ヶ里歴史公園公式LINE@より招待クーポンを入手
方法2／各種広告媒体、リーフレットより招待券を入手

「子育てし大“券”2018」で 吉野ヶ里歴史公園に 無料ご招待

佐賀県では、吉野ヶ里歴史公園が持つ「広場や遊び場などのレクリエーション空間」としての魅力を、子育て世代の皆さんに知っていただくため、昨年度に引き続き、吉野ヶ里歴史公園への招待券「子育てし大“券”2018」を配布しています。ぜひこの機会に、吉野ヶ里歴史公園に足を運んでください。

「夫婦円満」の秘訣を伝授 プレパパへ、



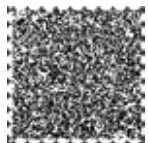
妻が妊娠期にある男性を対象に、「マイナス1歳からのイクカジ推進事業」を実施します。

セミナーの開催や父子手帳の配布などにより、妻の精神面をケアする重要性等を伝え、プレパパの主体的な家事・育児への参画を促すとともに、妊娠中から夫婦で役割分担について話し合うきっかけづくりを行います。また、男性の意識改革についてのプロモーションに取り組み、夫婦がともに家事・育児に参画することが当たり前となり、誰もが活躍できる社会づくりを進めます。

●プレパパとは、妊娠期の妻を持つ男性のことです。

詳しくは

【子どもの居場所】子ども家庭課 ☎0952-25-7056 ✉ kodomo-katei@pref.saga.lg.jp
【吉野ヶ里歴史公園】都市計画課 ☎0952-25-7159 ✉ toshikeikaku@pref.saga.lg.jp
【男性の家事・育児】男女参画・女性の活躍推進課 ☎0952-25-7062 ✉ danjo-katsuyaku@pref.saga.lg.jp



詳しくは

【本に親しむ環境づくり】まなび課 ☎0952-25-7313 ✉ manabi@pref.saga.lg.jp
【子どもの交流】子ども未来課 ☎0952-25-7382 ✉ kodomomirai@pref.saga.lg.jp



学びを支える

私立高等専修学校での教育を充実させます

県内には、不登校経験者や発達障害(疑い含む)のある生徒、全日制高校中退者など、高等学校では自分に適した教育環境に恵まれなかった生徒たちを受け入れ、高等学校と同等の教育を行っている私立高等専修学校があります。

県では、こうした私立高等専修学校における教育の充実を図るため、発達障害(疑い含む)のある生徒の学習支援を行う特別支援教育支援員の配置にかかる費用を補助します。



支援員は、生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、得意分野の能力を高めながら、生活や学習上の困難を改善し、克服するための支援を行います。

将来の夢を実現するため、私立高等専修学校に進んだ生徒が、安心して教育を受けられる環境をつくっていきます。

●発達障害とは、自閉症やアスペルガー症候群等の広汎性発達障害、ADHD(注意欠陥多動性障害)、LD(学習障害)などの脳機能障害のことです。

部活動指導員の制度を活用します

近年、教員の多忙さが指摘されており、その要因の一つに部活動の負担が大きくなっていることがあげられています。

こうした部活動の顧問をしている教員の負担軽減を図るため、外部の人材に部活動の指導を担ってもらう取り組みを始めています。



部活動指導員は、単独での指導や大会等への引率を行うことができるため、教員の負担を軽減するとともに、より高いレベルの練習をしたい生徒のニーズにも対応することができるようになります。

この制度を活用・検証することによって、教員の負担を軽くし、授業の準備や子どもと向き合う時間を確保できるよう取り組んでいきます。

●部活動指導員とは、学校の教育計画に基づき行われる部活動において、校長の監督を受け、部活動顧問として技術的な指導や大会等への生徒の引率業務等を単独で行うことができる人のことです。

第43回全国高等学校総合文化祭の開催に向けて

第43回全国高等学校総合文化祭(2019さが総文)が、来年7月27日から8月1日までの6日間、佐賀県で開催されます。

文化部活動に取り組んでいる高校生が全国から一堂に会するこの祭典では、美術・工芸や書道、演劇など23部門のステージ発表や作品展示等が行われます。

大会の企画や運営は、高校生自身が担うため、県内から募った生徒による「生徒実行委員会」が立ち上げられました。参加者や来訪者へのおもてなしをはじめ、各部門大会の開催準備などを進めながら、佐賀の魅力発信を行います。

今年は、県総合文化祭を兼ねてプレ大会を開催します。県内各地での部門大会をはじめ、8月3日にパレードと国際交流コンサートを、10月14日に総合開会式を開催する予定です。

高校生の力を結集し、2019さが総文に向けて盛り上げていきます。



2019さが総文

創造の羽を広げ、蒼天へ舞え
パレートの如く

(大会テーマ) - 創造の羽を広げ、蒼天へ舞え パレートの如く -



大会マスコットキャラクター
あさぎちゃん



△生徒実行委員会の会議



△2019さが総文 500日前イベント

宮城大会
パレードに参加
しました!



△全国高校総合文化祭総合開会式
(第41回宮城県大会の様子)

詳しくは

学校教育課 全国高総文祭推進室 ☎0952-25-7584・0952-25-7462 ✉sagasoubun@pref.saga.lg.jp
https://sagasoubun.jp/ 2019さが総文 🔍

詳しくは

【私立高等専修学校】法務私学課 ☎0952-25-7217 ✉houmu-shigaku@pref.saga.lg.jp
【部活動】保健体育課 ☎0952-25-7234 ✉hoken-taiiku@pref.saga.lg.jp

健やかに生きる

ヘルプマークを ご利用ください

様々な困難を抱える方たちの、それぞれの特性に応じたきめ細やかな支援を行うためには、バリアフリー設備の整備などに加え、人による支援が欠かせません。しかし、中には、難病をはじめ、内部障害や義足、妊娠初期など、その状態を外見から判断することができない場合があります。そこで、県では、そのような方を一目で認識し、配慮や必要な支援を行えるよう、新たに「ヘルプマーク」を導入します。また、電車やバスなどの公共交通機関で、ヘルプマーク対象者の優先席の設置を

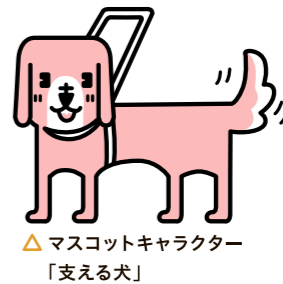


△ヘルプマーク

提案するなど、ヘルプマークがより効果を発揮できるように取り組んでいきます。



△佐賀県障害者差別解消のシンボルマーク



△マスコットキャラクター「支える犬」

発達障害で 悩んでいる方々を 支援しています

県では、発達障害の方やそのご家族を総合的に支援するための窓口として、「発達障害者支援センター」を鳥栖市と多久市に設置しています。専門スタッフが、発達障害に関する様々な相談に応じるとともに、情報提供や助言を行い、必要に応じて関係機関へつなぎます。また、最近では、成人の発達障害の方が、仕事上の悩みを抱えるケースが多くなっています。



佐賀県発達障害者就労支援センター「SKY~スカイ~」

☎0952-20-2971
佐賀市駅前中央1丁目7-131
相談日：毎週月～金曜日（祝祭日、年末年始は除く）
時間：9時～17時

そのため、成人の方を対象とした支援窓口として、新たに「発達障害者就労支援センター」を設置しました。ここでは、就労に関する相談を中心に受け付け、必要な助言や支援を行うとともに、発達障害の方を雇用している企業や事業所を対象に、発達障害の理解促進のための研修会を行います。

想いに寄り添う 認知症ケア

認知症になると、記憶障害や判断力の低下といった基本的な症状のほか、不安や焦燥、介護を嫌がるといった行動・心理症状が起こることがあります。しかし、こうした症状は、認知症の方それぞれに合ったケアが提供されることによって緩和することができます。

適切なケアが着実に提供できるよう、県では、認知症の方を一定の時間観察・記録してケアの質を評価し、その結果を現場の



△認知症ケアの様子

介護スタッフへフィードバックする「認知症ケアマッピング」の手法を用いて、認知症ケアの質の見える化を進め、介護スタッフの気づきを促していきます。こうした取り組みにより、認知症ケアの質の向上を図り、認知症の方の想いを尊重するケアを提供していきます。

介護の仕事の 魅力を発信します

急速に少子高齢化が進む中、2025年には、いわゆる「団塊の世代」が全て75歳以上となる超高齢社会を迎えます。



高齢者人口の増加により、高齢者が安心して生活できるためのサービスをさらに充実することが求められています。サービスの担い手となる介護人材は全国的に不足している状況です。

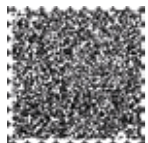
介護人材の不足の原因は、様々なものがあげられますが、介護の仕事に対してマイナスのイメージが先行してしまい、敬遠されていることも要因の一つとなっています。

このため、県では、介護の仕事を紹介するテレビ番組の放送や介護の現場で働いている方々を紹介する冊子を発行し、やりがいや夢など介護の仕事の魅力を発信していきます。



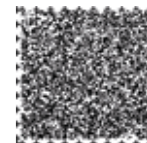
詳しくは

長寿社会課 ☎0952-25-7054 ✉ tyoujyusyakai@pref.saga.lg.jp



詳しくは

障害福祉課 ☎0952-25-7064 ✉ shougaifukushi@pref.saga.lg.jp



ひとりで悩まず、相談してみませんか？

2人に1人はがんにかかる時代。もしも自分や身近な人ががんになったら、あなたは誰に相談しますか？
佐賀県がん総合支援センター「さん愛プラザ」では、治療だけでなく、生活や仕事などの悩みや不安と向き合う方々をサポートします。

臨床経験豊富な専門の相談員やがんの経験があるピアサポーターが常駐し、電話相談や対面による相談を無料で受け付けています。今年度からは、平日は毎日相談できるようにになりました。



△安心して相談できる空間

△キッズスペース

また、毎月第3日曜日は「さん愛サロン」が開催されており、レクリエーションを交え、患者同士が気軽に交流できる場となっています。このほか、がんに関する情報コーナーやほっとくつろげる喫茶スペースも設置しています。

「さん愛プラザ」は、「ききあい(愛)、ふれあい(愛)、ささえあい(愛)」を合言葉に、がんになっても安心して暮らせる社会づくりを目指します。

●ピアサポーターとは、がんと闘った経験を活かし、ピア(仲間)として患者・家族の支援を行う人のことです。



専門の相談員がお待ちしております

がんの悩み相談ダイヤル

☎0120-246-388

相談日：毎週月～金曜日(祝日は除く)
時間：9時30分～13時、14時～16時30分

職場健診の「ついでに、無料で」 肝炎ウイルス検査を

佐賀県の肝がん死亡率は、長年高い数値で推移しています。肝がんの主な原因は、B型



△職場での健診の「ついでに、無料で」検査を受けられます



△採血の様子
(肝炎ウイルス検査は血液検査により行います)

C型肝炎ウイルス性肝炎であり、肝がんなどへの重症化を予防するため、まずはウイルスに感染しているかどうか検査することが重要です。
しかし、肝炎ウイルス検査の受検率は、30歳から60歳において伸び悩んでおり、こうした「働く世代」への対策が急務となっています。
そこで、今年度から、全国健康保険協会(協会けんぽ)で実施している肝炎ウイルス検査の費用を、協会けんぽと佐賀県で全額負担することとしました(※佐賀県在住者のみ)。
少しでも多くの方に肝炎ウイルス検査を受けていただくため、職場での健診の「ついでに、無料で」検査を受けられるよう取り組んでいきます。そして、検査で陽性となった方には、早期の精密検査受診等を促し、肝疾患の重症化予防を進めます。

正しく薬を飲んでいるか、 かかりつけ薬剤師に 相談しましょう

医療機関から出される薬は、病気や症状に合わせて医師が処方したのですが、お薬手帳などによる薬の管理がきちんとできていない場合、同じ効能の薬が重複して処方されている可能性があります。
適切に薬を服用することは、病気の悪化を防ぎ、健康状態を良くするためにも重要です。薬が多いからといって、すべてのケースに問題があるわけではありません。

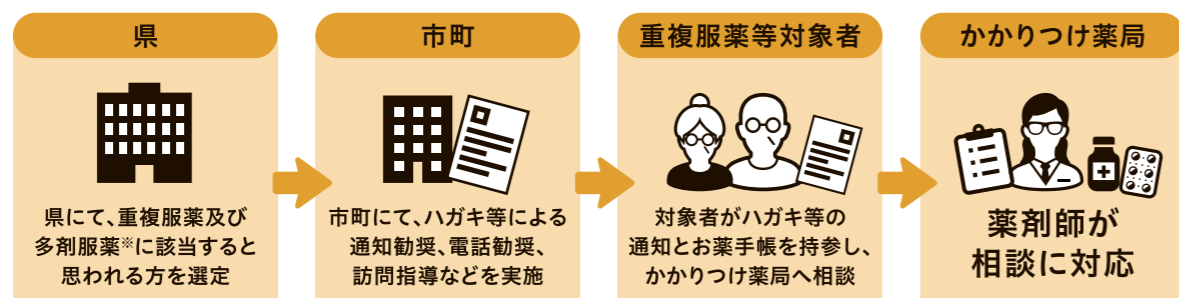


△薬剤師への相談の様子

しかし、適量以上の服用や薬の飲み合わせによっては、副作用など健康に影響が出る恐れがあります。
そのため、県では、国民健康保険に加入している方のうち、多くの種類の薬の処方を受けている方や、複数の医療機関から同じ効能の薬が処方されている方に、お薬相談のお知らせを始めました。
お知らせでは、薬局薬剤師への相談をご案内していますので、かかりつけ薬局へ相談してください。薬剤師が相談に対応し、必要に応じて医師に処方内容を確認します。こうした取り組みにより、皆さんが安心して薬を服用できる体制づくりを進めていきます。



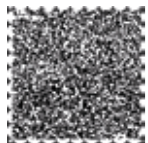
重複服薬者等対策事業の取組イメージ



※本事業の対象者/重複服薬者:1カ月間に同じ薬効の薬が複数の医療機関から処方されている方。
多剤服薬者:1カ月間に12種類以上の薬が処方されている方。

詳しくは

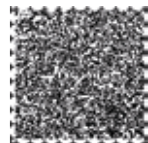
国民健康保険課 ☎0952-25-7057 ✉kokuho@pref.saga.lg.jp



詳しくは

【がん相談】佐賀県がん総合支援センター「さん愛プラザ」 ☎0952-37-3336
<http://saga-kenkou.or.jp/main/686.html> [さん愛プラザ](#)

【がん対策】健康増進課 がん撲滅特別対策室 ☎0952-25-7491 ✉kenkouzoushin@pref.saga.lg.jp



魅力あるまちをつくる

そうだ、島へ行こう!!

佐賀県には、高島、神集島、小川島、加唐島、松島、馬渡島、向島という7つの有人離島があります。これらの島々には様々な見どころがあり、高島には宝くじが当たると評判の宝当神社、神集島には万葉の碑と海中鳥居、そして、加唐島には百済の武寧王の生誕地など、それぞれ特徴的な地域資源があります。しかし、その認知度は必ずしも高いとは言えません。



そこで、本土に近いという利点を活かし、気軽に島へ行ってもらえるよう、島のマップやイベントの情報を記載した冊子などを用いて積極的に情報発信を行い、島の交流人口の増加や島の活性化を目指します。皆さん、佐賀県の七つの島に行ってみませんか。



よし、あの島へ行こう!

△ 海辺の教会

中山間地域の農業と農村の振興に向けて

佐賀県の中山間地域では、米やみかんなどの本県を代表する農産物の産地が形成されています。しかし、農地が狭いなど、

平野部と比較して生産条件が不利であり、担い手不足や耕作放棄地の増加などの課題が深刻になっています。

中山間地域の農業と農村の維持・発展のためには、市町や関係団体が一体となって取り組みを進めていく必要があります。

このため、県では今年度から、中山間地域のそれぞれの集落や産地が主体的に行う、課題解決策の検討や目標の実現に向けた取り組みなどを支援していきます。

これにより、農業受委託組織の設立・運営による「農業・農地の維持」や、新たな品目の栽培、農産物の加工などによる「農業所得の向上」の取り組みを進めます。

こうした取り組みを行う集落や産地を増やし、中山間地域を元気にしていきます。



△ 山間部での田植え

△ ひまわりの種まき

地域と親子をつなぐ「さが地域ツズサポーター」活躍中!



△ サポーターがお手伝いします

最近、相談できる人が少ないために、子育ての悩みを抱え込むお父さんやお母さんが多くなっています。佐賀県には様々な地域づくり団体があり、親子で参加できるイベントも数多く開催されています。

されていることから、親子と地域づくり団体を結び役割を担う「さが地域ツズサポーター」を配置しました。親子が気軽に地域と関われるよう、子育て世代のニーズに合った地域づくり団体の活動やイベントのコーディネートや、地域づくり団体の情報発信力を高める支援を行っています。



△ 活動の様子



△ 地域の餅つき大会

こうした取り組みを通じて、地域づくり団体の活動を活性化するとともに、子育て世代と地域コミュニティとの関係づくりをサポートし、地域全体で子育てを支える環境づくりを進めます。

人にやさしいまちづくりを目指して

広々としたトイレや段差のない通路、声をかけてくれる店員さん。まちに出かけると、そんな優しさに出会います。



県では、お年寄りや障がいのある方、妊娠中の方、子育て中の方など、誰もが安心して

利用できる施設やサービスを提供し、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めます。



△ 子ども用のイス



△ 買い物のサポート

詳しくは

【地域ツズサポーター】さが創生推進課 ☎0952-25-7505 ✉sagasousei@pref.saga.lg.jp
http://www.sagajikan.com/chiikiokoshi#taiin-2 さがじかん

【さがすたいる】県民協働課 ☎0952-25-7068 ✉kenminkyoudou@pref.saga.lg.jp
https://saga-style.jp さがすたいる

詳しくは

【離島】さが創生推進課 ☎0952-25-7376 ✉sagasousei@pref.saga.lg.jp
http://www.sagajikan.com/ritouchiiki さがじかん

【中山間地域】農政企画課 ☎0952-25-7587 ✉nouseikikaku@pref.saga.lg.jp



△九州佐賀国際空港



九州佐賀
国際空港
KYUSHU-SAGA
International AIRPORT

地域を 活気づける

九州佐賀国際空港を もっと使いやすくします

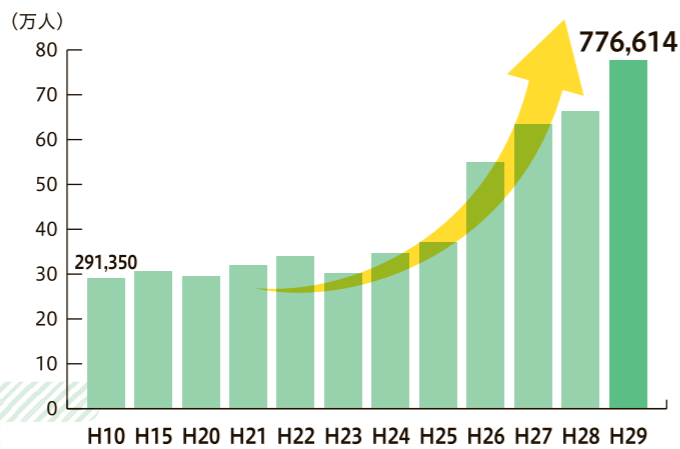
九州佐賀国際空港は、平成10年7月28日に開港し、今年で20周年を迎えます。

現在、東京便、成田便、上海便、ソウル便に加え、台湾プログラムチャーター便が就航しており、平成29年度の利用者数は約77万6千人となりました。5年連続で過去最高を記録し、国内外から多くのお客様にご利用いただいています。

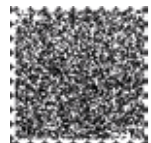
その一方で、路線や便数の充実、利用者数の増加などにより、空港施設の混雑が激しくなっており、駐機場や旅客ビルの拡張に取り組んでいるところです。今年度から、旅客ビルの拡張工事を行う計画であり、チェックインカウンターの増設のほか、搭乗待合室・売店・レストランの拡張などを行います。

こうした空港施設の整備をしっかりと進め、「九州のゲートウェイ空港」として発展させていきます。

九州佐賀国際空港年間利用者数



過去最高!
77万人突破



詳しくは

空港課 ☎0952-25-7104 ✉kuukou@pref.saga.lg.jp



平成29年7月に発生した九州北部豪雨。各地で土砂崩れや地すべりなど、多くの災害が発生し、県内でも有明海沿岸に約22,000mの流木が漂着するなど、多大な被害をもたらしました。

この九州北部豪雨災害をきっかけに、私たちは大切なことに気づきました。それは、森の恵みが川を通じて海を育んでおり、私たちのくらしは森・川・海の恩恵で支えられているということです。

佐賀の「森・川・海」を
みんなの力で守り、
未来につなげます



△森川海人っプロジェクト
キャラクター
森川海人くん

県では、県民の皆さんに、森・川・海が重要な役割を果たしていることを知ってもらい、保全活動などの行動につなげていただきたいと考え、「森川海人っプロジェクト」に取り組んでいます。

今年度は、本プロジェクトの取り組みを紹介するとともに、誰でも気軽に参加できるイベントを開催する予定です。

佐賀の豊かな自然を守るため、イベントへの参加などを通して、森・川・海の力を感じてください。

●「森川海人っプロジェクト」は、「もりかわかいとプロジェクト」と読み、「森・川・海はひとつ」という思いを「人がつなぐ」プロジェクトです。



△六角川川のぼり体験

△有明海親子探検隊

△よかウッドフェスタ

△ふれあいの森フェスタ(イメージ)

△玄海さがっ子リレー放流

△虹ノ松原クリーン大作戦

△嘉瀬川ダム上下流交流イベント

△有明海クリーンアップ作戦

詳しくは

森林整備課 ☎0952-25-7136 ✉shinrinseibi@pref.saga.lg.jp



AI・IoTの活用を支援します！

近年、AI（人工知能）やIoTといった最先端のテクノロジーが急速に広まっています。この新しいテクノロジーは、製造業や建設業をはじめ、農林水産業やサービス業、医療・福祉分野などのあらゆる場面で利用されており、県内企業にとっても新たなビジネスチャンスとなっています。

県では、これらのテクノロジーを活かし、生産性の向上や新たなサービスを創造する環境をつくるため、AIやIoTを手軽に体験し、導入に向けた相談などの支援が



△ 県内企業もAI・IoTを活かして世界で活躍



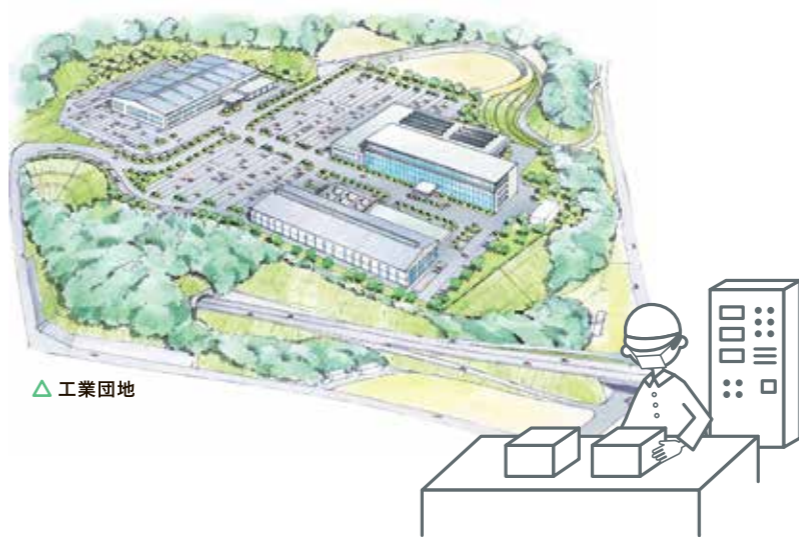
△ (株) オプティムとAI・IoT活用推進の包括連携協定を締結

受けられる「産業スマート化センター（仮称）」を設置します。このほか、県内における実証実験の実施やAI・IoTを活かした佐賀県産品の映像制作などに取り組み、AI・IoTの活用を進めていきます。

● IoTとは、Internet of Thingsの略で、様々な「モノ」がインターネットにつながり、情報のやり取りを行うことにより相互に制御する仕組みのことです。

産業用地を整備して、企業誘致を進めます

県では、地域経済の活性化や魅力ある雇用の場の創出を進めるため、企業誘致に取り組みんでいます。近年、企業の立地が順調に



△ 工業団地

進んでおり、新たに立地してもらったための産業用地は残りわずかとなっています。そのため、市や町が行う中規模の産業用地の開発を引き続き支援するとともに、大規模な産業用地を確保するため、大規模な開発が可能で、企業の立地に適した用地を県内一円で調査することとしました。

この調査結果をもとに、新たな産業用地を整備し、さらなる企業誘致を進めていきます。

さかの未来を担う人材を確保するため、企業の採用力UPを支援します！



現在、少子高齢化などにより、全国的に人材の確保が難しくなっています。

県内企業からも、「人手が足りない」「必要な人材が見つからない」という悩みを聞くようになりました。県内の高校生は、卒業などをきっかけに約半数が県外に進学・就職しています。人材の流出傾向が特に強い佐賀県にとって、人材確保は大きな課題です。



未来を担う人材を確保するためには、労働環境や労働条件の改善のほか、採用活動の工夫や働く側が魅力を感じるような企業情報の発信などに取り組みする必要があります。

こうした採用に関するノウハウを身に付けるセミナーの開催や専門家派遣による企業ごとの個別支援を通じて、企業の採用力向上を支援します。

「宝の海」有明海の水産資源の回復を目指して

有明海は、タイラギやアゲマキ、ウミタケ、サルボウなど、多様な生物を育む「宝の海」です。

近年、漁場環境の悪化などにより、漁獲量が大きく減少しています。これまで、県では、稚貝（貝の子ども）などを直接海に放す種苗放流など、水産資源の回復に向けて取り組んできました。

特に、アゲマキは、稚貝の放流を続けてきた結果、貝が増え、漁獲できるサイズまで

成長してきたことから、22年ぶりに漁を再開することができました。

また、今年度からは、タイラギやウミタケについて、親となる母貝を増やして資源を回復させるため、卵から稚貝を育てる技術や放流した稚貝の生存率を高める技術の開発に取り組んでいます。

これからも、「宝の海」を次世代に引き継いでいくため、有明海の再生に取り組んでいきます。



△ 有明海



△ アゲマキ

詳しくは

【人材採用】産業人材課 ☎0952-25-7100 ✉sangyoujinzai@pref.saga.lg.jp
【有明海再生】水産課 ☎0952-25-7144 ✉suisan@pref.saga.lg.jp



詳しくは

【AI・IoT】産業企画課 ☎0952-25-7251 ✉sangyoukikaku@pref.saga.lg.jp
【企業誘致】企業立地課 ☎0952-25-7097 ✉kigyouricchi@pref.saga.lg.jp



安心して暮らす

相手への思いやりで 交通事故を防止しよう

昨年の交通事故死亡者数は36人で、そのうち歩行中に亡くなられた方は12人でした。このうち7人が夜間の事故で亡くなっています。

夜間の歩行者事故を防ぐため、ドライバーは早めのライト点灯、歩行者は反射材用品を着用して、お互いの発見に努めましょう。

また、佐賀県内で発生した交通事故のうち、約半数は追突事故となっていますが、「前をよく見る」「車間距離を十分に取る」ことで、事故は防止できます。加えて、追突事故は、前を走る車の思いがけない動きも



要因の一つとなっています。早めの合図やブレーキで後続車に自分の車の動きをしっかりと伝えることも大切です。

犯罪被害に

あわれた方々に寄り添い、 温かく支える地域社会へ

県では、「佐賀県犯罪被害者等支援条例」に基づき、平成30年3月に「佐賀県犯罪被害者等支援推進計画」を策定しました。

計画では、①犯罪被害者等に対する各種情報の提供等、②精神的・経済的支援、③関係機関相互の連携、④理解の増進を重点4項目と定め、犯罪被害にあわれた方とそのご家族に寄り添い、次に進む一歩を踏み出せるよう支援を行います。

具体的には、犯罪被害者等支援コーディネーターを設置して、関係機関の連携を強化するとともに、弁護士への法律相談費用の助成を行います。また、大学生等への出前講座などを通じて、犯罪被害者等に対する理解促進に取り組みます。

「COOL CHOICE」で 豊かな環境を未来へ！

温暖化が進むと、大雨などの異常気象により、自然環境や人の暮らしに重大な問題を引き起こします。

そのため、県では、今よりもう一歩進んだ温暖化対策として、未来のために考えて行動しよう、選ぶとうという「COOL CHOICE（賢い選択）」の考え方を発信しています。

例えば、照明器具やエアコンを消費電力が少ないものに買い替えたり、車の運転時には燃費のいい運転を心掛けたり、住宅を



未来のために、いき選ぼう。

省エネ



省エネタイプに新築・改築することをすすめています。

みんなで「賢い選択」を積み重ね、安心して暮らせる佐賀の豊かな環境を未来の子どもたちに引き継ぎましょう。

高齢になっても

安心して暮らせる

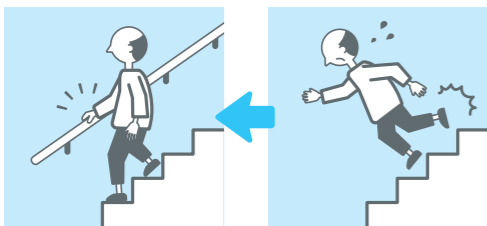
住まいにしませんか？

一番安心できるはずの自宅で、段差につまずいて転倒、転落する事故が起きています。

県内には、「段差が多い」「手すりがない」などのバリアフリー化されていない住宅も多く、特に高齢者が暮らしている住まいで多くなっています。

必要になってからと考えるのではなく、早めの対策に取り組むことが重要です。

県では、多くの方に住まいに潜む危険性やバリアフリー化の



△ 手すりの設置

必要性について知ってもらうため、テレビCMの放送やパンフレット等の作成・配布を行います。また、住まいのバリアフリー化に安心して取り組むことができるよう、在宅生活サポートセンターでの建築士による相談窓口を設置します。

ぜひ一度、ご自宅を見つめ直してみませんか？



△ 在宅生活サポートセンター（バリアフリーモデル住宅）の様子

Topics! 【トピックス】

伝えよう佐賀の災害歴史遺産

県内に残された災害にまつわる歴史的な遺産や遺構。しかし、そこに刻まれた経験や教訓は、あまり知られていません。

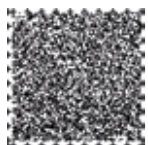
地域の防災力を向上させるため、こうした災害歴史遺産を掘り起こし、教訓として後世に伝えていきます。



△ 昭和三十七年の大水害を契機に始まった「鹿島おどり」



△ 個人宅の壁に残る昭和二十八年の大水害の時の水位跡



詳しくは

【温暖化対策】環境課 ☎0952-25-7079 ✉kankyou@pref.saga.lg.jp
<https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/> **COOL CHOICE**
 【住まい】建築住宅課 ☎0952-25-7165 ✉kenchikujuutaku@pref.saga.lg.jp



詳しくは

【交通安全】警察本部 交通企画課 ☎0952-24-1111(代表)
 【犯罪被害者支援】くらしの安全安心課 ☎0952-25-7060 ✉kurashianzen@pref.saga.lg.jp
 【災害遺産】消防防災課 ☎0952-25-7026 ✉shouboubousai@pref.saga.lg.jp

文化・スポーツを楽しむ

伝承芸能を継承し、地域の絆を深めていきます

唐津くんちの曳山行事や武雄の荒踊など、佐賀県には特色ある伝承芸能が数多く受け継がれています。こうした地域の宝を継承することは、郷土愛を育むとともに、誇りと志を醸成し、地域の活性化につながります。このため、県では、広く県民の皆様に伝承



△ 武雄の荒踊(武雄市)

△ 米多浮立(上峰町)

芸能の魅力に触れていただくため、県内の伝承芸能の担い手が一堂に会し、謡や舞を披露する「佐賀県伝承芸能祭」を開催します。また、団体間の交流促進やネットワーキング、伝承芸能の実態や課題を把握するための調査を行うなど、地域と連携しながら、佐賀県の本物

の地域資源である伝承芸能を未来へつなげる取り組みを進めていきます。



△ 三重の獅子舞(佐賀市)

佐賀県伝承芸能祭

会期：平成30年10月8日(月・祝)
会場：佐賀市文化会館

名護屋城博物館は開館25周年を迎えました

肥前名護屋は、文禄・慶長の役に際して、国内における軍事拠点として大きな役割を担った場所です。

そこには、豊臣秀吉の居城である肥前名護屋城や日本各地から集まった多くの大名たちの陣屋が築かれました。また、京・大坂・堺などから多くの商人が集い、城下町も大きく発展し、肥前名護屋は政治・経済・文化の中心となります。しかし、秀吉の死により戦は終息へ向かい、約7年間という



△ 名護屋城博物館



△ 肥前名護屋城図屏風 佐賀県重要文化財 佐賀県立名護屋城博物館蔵

名護屋城博物館開館25周年記念特別企画展「肥前名護屋-幻の巨大都市-」

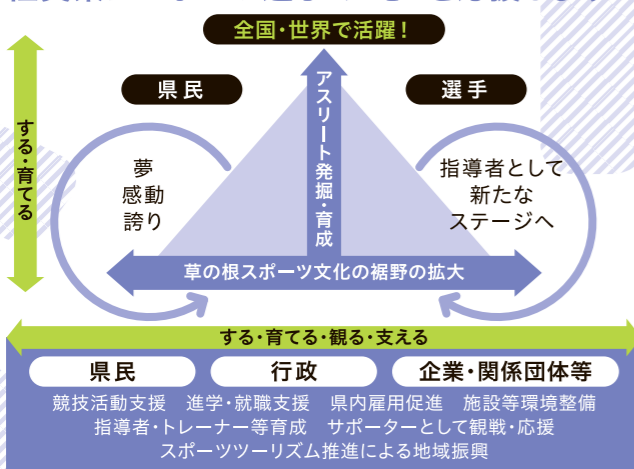
会期：平成30年9月28日(金)～11月11日(日)
会場：名護屋城博物館 2F企画展示室(有料)

短期間で肥前名護屋はその役割を終え、歴史の表舞台から姿を消しました。展覧会では、40年間にわたる名護屋城跡と陣跡保存整備事業の成果をはじめ、開館以来積み重ねてきた調査・研究成果をもとに、軍事都市として形成された肥前名護屋に関する資料を中心に展示し、幻の巨大都市「肥前名護屋」を紹介します。

オール佐賀で、新しいスポーツ文化をつくりまします

スポーツには、4つの面があります。成長段階や競技レベルに応じてスポーツを「する」。競技経験を活かし、指導者として次世代の選手を「育てる」。地域で頑張る選手の成長や活躍する姿を「観る」。ボランティア団体や経済団体など、様々な分野からスポーツを「支える」。

佐賀県はスポーツ選手の“志”を応援します!



県では、こうしたスポーツをする・育てる・観る・支えるという「草の根スポーツ文化の裾野の拡大」と、県ゆかりの「アスリートの発掘・養成」という2つの軸によって、佐賀県のスポーツピラミッドを大きく成長させ、新しいスポーツ文化をつくっていきます。



にぎわいを生み出す

SAGAサンライズパーク (仮称)

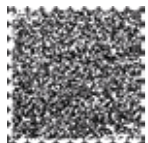
2023年に佐賀県で開催される国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会。これを契機に、県では、陸上競技場や球技場などのスポーツを「する」施設とともに、「観る」スポーツなどに対応した「SAGAアリーナ(仮称)」やカフェなどが入るテナント棟などの「憩い・にぎわう」施設をあわせて整備します。



特に、アリーナは、これまで県内で実現することが難しかったトップアスリートやプロの試合を開催することができ、多くの県民の皆さんにレベルの高い試合を観戦していただけます。また、コンサートや展示会など、県内外から多くの人が集まる多目的なイベントにも利用できます。様々な大会やイベント等の開催を通じて、佐賀のまちににぎわいを生み出す施設を目指します。

詳しくは

スポーツ課 ☎0952-25-7331 ✉sports@pref.saga.lg.jp



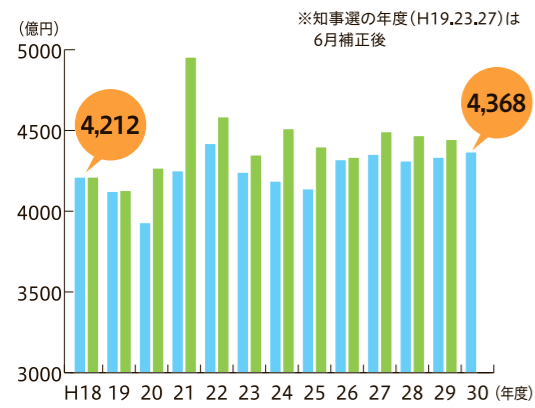
詳しくは

文化課 ☎0952-25-7236 ✉bunka@pref.saga.lg.jp
http://saga-museum.jp/nagoya/ 佐賀県立名護屋城博物館

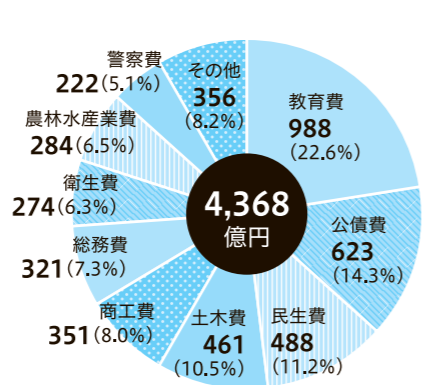


平成30年度当初予算

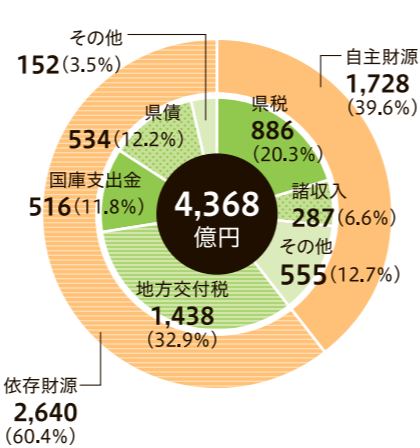
予算規模の推移



歳出予算



歳入予算

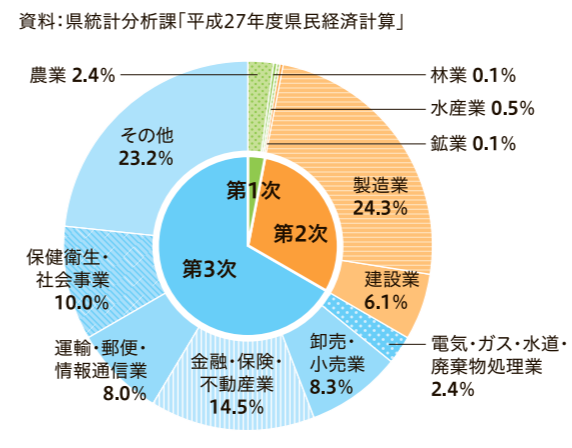


佐賀県が誇る日本一

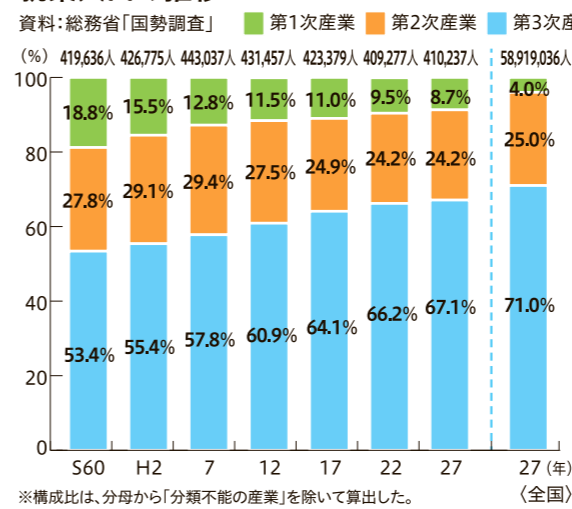
<p>栄養たっぷり海の幸</p> <p>全国シェア 25.5%</p> <p>全国1位 板のり収穫量</p> <p>19億8,789万枚</p> <p>[H28年] 農林水産省「漁業・養殖業生産統計」</p>	<p>手間ひまかけた美味しさ</p> <p>全国シェア 34.6%</p> <p>全国1位 ハウスみかん収穫量</p> <p>6,990トン</p> <p>[H29年産] 農林水産省「果樹生産出荷統計」</p>	<p>電子機器の心臓部</p> <p>全国シェア 26.8%</p> <p>全国1位 シリコンウエハ(表面研磨したもの)出荷額</p> <p>1,200億円</p> <p>[H27年] 経済産業省「経済センサス 活動調査」</p>
<p>健康をサポートする</p> <p>全国平均 46.2か所</p> <p>全国1位 人口10万人当たり薬局数</p> <p>64.7か所</p> <p>[H28年度] 厚生労働省「衛生行政報告例」</p>	<p>地域のヒーローとして</p> <p>全国平均 6.7人</p> <p>全国1位 人口1,000人あたり消防団員数</p> <p>23.0人</p> <p>[H29年] 消防庁「消防白書」、総務省「住民基本台帳人口(H29.1.1)」</p>	<p>自立の第一歩を支える</p> <p>全国平均 50.0%</p> <p>全国1位 障害者の法定雇用率達成企業の割合</p> <p>72.6%</p> <p>[H29年] 厚生労働省「障害者雇用状況の集計結果」</p>
<p>生活に欠かせない存在</p> <p>全国平均 54.3台</p> <p>全国1位 100世帯あたり軽自動車の普及台数</p> <p>103.8台</p> <p>[H28年] 一般社団法人全国軽自動車協会連合会「軽四輪車保有台数と世帯当たり普及台数」</p>	<p>授業を分かりやすく</p> <p>全国平均 79.5%</p> <p>全国1位 電子黒板のある学校の割合</p> <p>100%</p> <p>[H28年度] 文部科学省「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」</p>	<p>恵比須さまのご利益?</p> <p>全国1位 宝くじ高額当せん金(100万円以上)当せん発生率</p> <p>[H28年度] 全国都道府県及び20指定都市発行「2017宝くじのしおり」</p>

佐賀県の産業

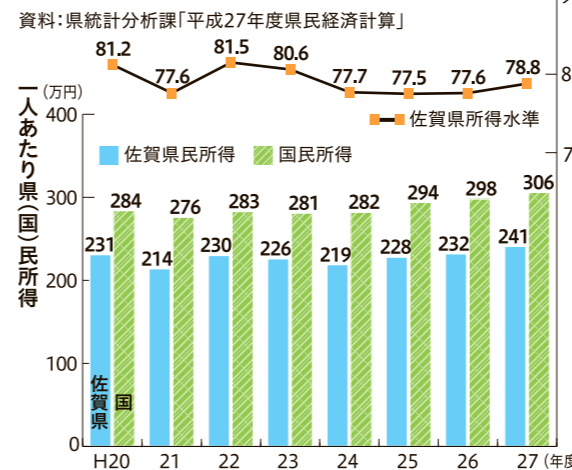
経済活動別県内総生産の構成比



就業人口の推移

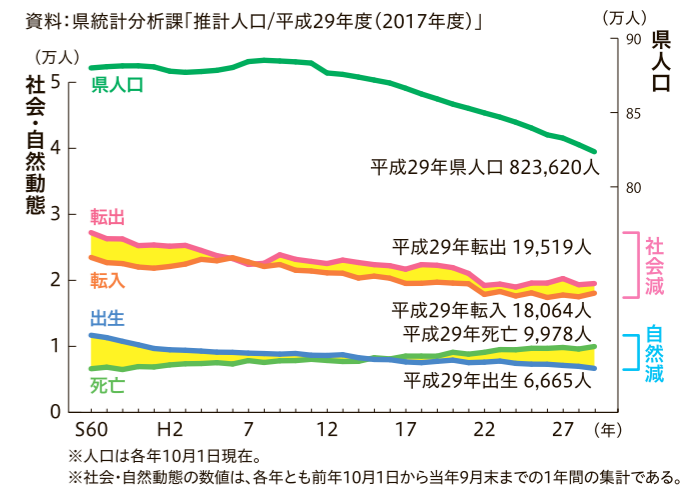


県民所得の推移(1人あたり)

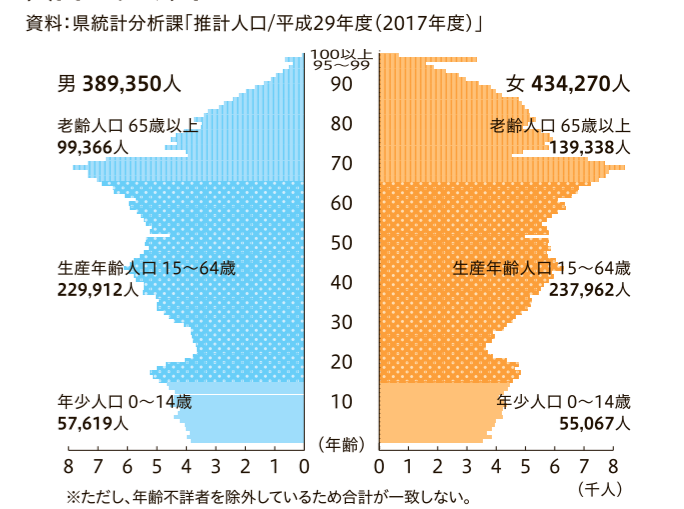


佐賀県の人口

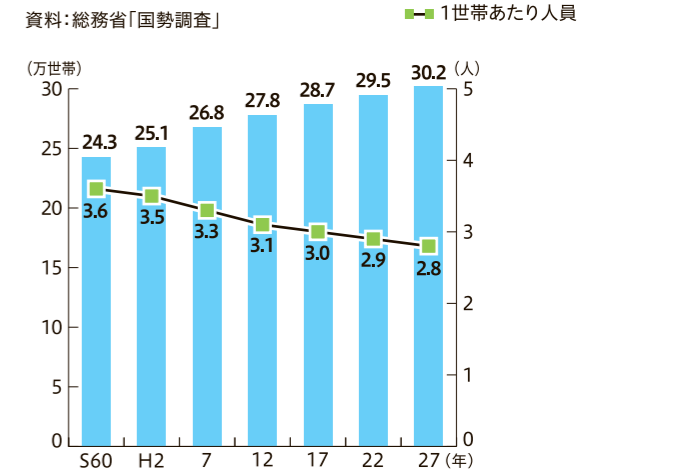
人口の動態



人口ピラミッド



世帯数及び世帯人数の推移



詳しくは

財政課 ☎0952-25-7013 ✉zaisei@pref.saga.lg.jp
 ホームページ > 県政情報 > 財政・予算・県庁運営 > 財政状況・予算・決算 > 平成30年度予算